

特集

省察的実践者を育む

『省察的実践者の教育』を読み解く 柳沢昌一

看護教育におけるショーンの提起の重要性 前川幸子
リフレクションを实践する——ショーンの探求に誘われて

・学生がピンと理解するようなコーチの力を育てる

岡本朋子／村田晶子

・実習を受け入れる視点から 室井佳奈／村田晶子

・実習指導をリフレクションする 前川幸子／青野美里

・教員の気づきを促すかわり 相山委都子／入江直子／村田晶子

【特別寄稿】

島嶼保健看護の高度実践看護師教育の実際〔後編〕 神里みどり 他

【連載】

授業を良くする！ 教育関連理論・3 西野毅朗

専門家と市民の架け橋 CoSTEP・6 種村剛

リズムとからだ「うまくいく」と「うまくいかない」の謎・9 伊藤亜紗
すべて、転んで、立ち上がるために 看護職生涯発達学から・9

佐藤紀子ほか

看護教育、継往開来・8 江藤裕之・林千冬

「配慮が必要な学生」の学びにつなげる対応——臨地実習における教育
上の調整を考える・12(最終回) 吉本照子学生なら誰でも知っている 看護コトバのダイバーシティ・12(最終回)
木村映里

編集後記

●ティーチング・ポートフォリオの存在を知ったのは、10年ほど前のことです。学生向けのポートフォリオ(ラーニング・ポートフォリオ)と対比した形での教員向けのものという認識で、弊誌で取り上げようと調べてみたのですが、時間と労力がかかりかかるとわかり、断念した覚えがあります。時が経ち、看護系大学が急増し、大学教員の評価が研究論文の数で決まるかのような風潮に危機を抱いていたところ、今回登場していただいた栗田佳代子先生らの取り組みに出会いました。●教育業績を評価する指標としてティーチング・ポートフォリオは、今後の教員評価の中心になっていくと思われます。時間と労力がかかることに変わりはないのですが、それを助けるメンターの教育も進み、より取り組みやすくなっていると思います。まずはワークショップからチャレンジしてみてください。

……大野

●リーディングスキルテスト(RST)はご存知でしょうか。東京大学合格をめざすロボット「東ロボくん」で話題になった新井紀子先生が中心となって、人工知能には、文章の読解に大きな難点がある、それでは日本の学生は文章を読めているのだろうか、という疑問のもと、この9月に開発された文章理解の測定試験です。結果の具体的な数字は見られていませんが、「子供たちの読解力が驚くほど足りていない状況」が明らかになったようです。(9月26日の毎日新聞)●反転学習などでも、テキストの読解が学習に充てられているかと思いますが、この結果を受けると、そもそもテキストを読めていない、という可能性が非常に高いのでは、と感じます。私の知る限りでは、看護学校・看護学部では、まだRSTは実施されていないようです。もうされている、興味がある方がいらっしゃったら、ぜひ一報ください。

……番匠

◎編集室ツイッター

http://twitter.com/KANGOKYOIKU

看護教育 第58巻 第11号 2017年11月25日発行(毎月1回25日発行)

Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2017, Printed in Japan

(1部) 定価: 本体1,500円+税

2017年・年間購読料(増大号を含む12冊): 冊子版15,540円, 冊子+電子版/個人18,540円, 電子版/個人15,540円(いずれも+税, 送料弊社負担)

発行: 株式会社医学書院 代表者: 金原 優 〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23 販売部 TEL: 03-3817-5659

『看護教育』編集室 TEL: 03-3817-5776 メールアドレス: kankyou@igaku-shoin.co.jp 担当: 番匠・大野・早田

本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・貸与権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は株式会社医学書院が保有します。本誌を無断で複製する行為(複写, スキャン, デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学, 病院, 診療所, 企業などにおいて, 業務上使用する目的(診療, 研究活動を含む)で上記の行為を行うことは, その使用範囲が内部的であっても, 私的使用には該当せず, 違法です。また私的使用に該当する場合であっても, 代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

JCOPY 出版者著作権管理機構 委託出版物

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は, そのつど事前に, 出版者著作権管理機構(電話03-3513-6969, FAX03-3513-6979, info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。0047-1895/17/紙: ¥500/電子: ¥750/論文/JCOPYが本誌の頁表記に並んで記されているのは, 1論文1回複製につき紙は500円, 電子版は750円を要することを明示したものです。表示のない論文などにも適用されます。JCOPY宛にご連絡いただく際には, 筆頭著者名と併せて本表示をご提供くださるようお願いいたします。

『看護教育』は, 株式会社医学書院の登録商標です。

『看護教育』 バックナンバーのご案内

(1部) 定価：本体 1,500 円＋税
年間購読 好評受付中!
電子版もお選びいただけます。

Vol.58 No.10

2017 年 10 月
特集

実践的思考力を育む

看護実践のためには、手技やコミュニケーション能力はもちろん、現場で考えられる力、実践的思考力が欠かせません。実践的思考力の育成は、看護基礎教育の永遠のテーマであるといえるでしょう。

しかし、もともと看護基礎教育で実践的思考力の育成を担っていた実習は、学習内容の増大や現場の負担増などによって、以前に比べ実践に近い学習が困難になっています。また、浸透しつつあるシミュレーション教育においても、学生が実践的に考えられるような内容ができていないかという、多くの先生も難しいと悩まれているように思います。そこで本特集では、あらためて、看護基礎教育で育むべき実践的思考力とはどういった能力なのか、そしてそれを現在基礎教育でどう育成するのか、という議論、そして少しでも学生が実践的に考えられるよう工夫されている事例をご紹介しますと思います。

すぐに答えが出るテーマではありませんが、みなさまの日々の実践と重ねて、そのヒントや刺激となれば幸いです。

■【対談】実践的に考える能力の育成に向けて……………任和子／阿部幸恵

■基礎看護学領域からはじめる、学生が自ら考えるための学習支援……………伊藤綾子

■臨床の立場から基礎教育に携わってみてきたこと……………明神哲也

■領域をこえて活用できるシミュレーションシナリオづくり——「ミッションタウン」プロジェクト……………藤野ユリ子／山田小織／八尋陽子／椎葉美千代／平川善大



Vol.58 No.9

2017 年 9 月
特集

学生とつくる授業 学生がつくる授業

「教育者主体」であった教育機関は、いま「学習者主体」に大きく変わろうとしています。教員はただの「教える」存在からの脱却を求められ、教えられる存在だった学生が、自ら学ぶ存在へと立場を大きく変えることになります。当然、看護教育においてもその流れは同じです。

実際、学生が主体的に学ぶ試みとして、「学生参画型教育」を取り入れる学校が増えてきました。文字通り、学生自身が教育に参画する方法で、広くは先輩による後輩指導や、PBL などのようなグループワークも含まれます。さらに学生主体を突き詰め、「授業」そのものを学生につくらせ、自らが学ぶということに引き合わせるという方法をとる例も現れてきました。今回は、そんな「学生とつくる授業」「学生がつくる授業」の取り組みの実際を紹介しします。

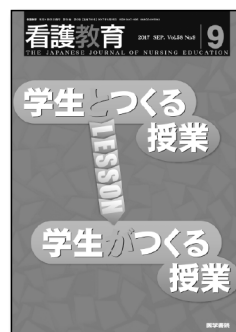
ここでは、学生が授業をつくる状況にまで導く教員の力が必要です。従来の講義中心の授業よりも、時間も手間もかかるかもしれませんが、自立した学生を育てるために、学生「と」つくる授業へ、そして学生「が」つくる授業への発展に、ぜひトライしてみてください。

■学生の「学び方」の意識を切り替える授業——入学時ガイダンスに焦点をあてて……………水方智子／大谷弘恵／山之内由美／木村緑

■学生が主体的に動くことで、授業はどう変わるのか……………甘佐京子／米田照美

■精神保健における、学生とともにつくる授業——協同学習の取り組みの現状と課題……………鈴木啓子／平上久美子／鬼頭和子／新里美智子

■学生がつくる授業は何をもたらすか——「恋する学問」とおして……………三浦真琴／松田昇子



【2017 年 8 月号 (Vol.58 No.8)】

「読む、書く、話す」で、
教育力の充実を

【2017 年 5 月号 (Vol.58 No.5)】

「楽しい」解剖学を求めて

【2017 年 7 月号 (Vol.58 No.7)】

リフレクションから授業研究
(レッスン・スタディ)へ

【2017 年 4 月号 (Vol.58 No.4)】

思考にきく発問

【2017 年 6 月号 (Vol.58 No.6)】

実践知の学びを再考する
“わざ言語”

【2017 年 3 月号 (Vol.58 No.3)】

学生のセクシュアリティに
向き合う

バックナンバーのご注文・在庫照会について

- 2015 年 9 月号 (Vol. 56, No. 9) 以前の号は、東亜ブック (TEL.03-5947-4781, FAX 03-3923-4539, <http://www.taabook.com/>)
- 2015 年 10 月号 (Vol. 56, No.10) 以降の号は、医学書院販売部 (TEL.03-3817-5659) にお願います。